

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーションⅠ)	単位数	4 単位	年次	1 年次
使用教科書	All Aboard! English Communication I (東京書籍)				
副教材等	All Aboard! English Communication I WORKBOOK (東京書籍) コーパス 1800 (東京書籍) Fast Reading Primary Stage 1 (文英堂)				

1 グラデュエーション及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①本校の特色及び取り組みを生かした高大接続、教育課程の編成、授業改善により基礎学力の向上を図るとともに、さらなるキャリア教育の実践を推進します。</p> <p>②規律ある学校生活の中で基本的な生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図ります。</p> <p>③生徒一人ひとりの良さや可能性を伸ばし、自立した社会生活を営むことができる力を育てるとともに、生徒の自己実現を図ります。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>総合学科の本校では多様な科目開設という特徴を生かした教育活動を展開し、「産業社会と人間」を基本として3年間を見通したキャリア教育を充実させます。また、地域と連携した実習や就労体験等、地域の教育資源を活用して教養、人間性および社会性を育てます。</p> <p>①多様な進路希望に対応する選択科目を設け、資質、能力の育成に相乗的であるように教科等横断的な視点に立った指導であること。</p> <p>②学習の継続性に配慮し、主体的・対話的で深い学びが実践できるような基礎基本を重視した教育課程を編成する。</p> <p>③ICTの活用も含め、生徒個々が自身の進路希望を意識した学習態度の早期醸成と高揚につなげられるものであること。</p> <p>④学校設定科目「キャリア実習」をはじめ、科目の設定にあたり地域産業、地域の人材を生かした授業展開ができること。</p>

2 学習目標 (CAN-DO)

<p>日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
--

3 指導の重点

<ol style="list-style-type: none"> 基本事項(語彙・文法等)の習得を目指し、音読練習や反復練習に重点を置いた指導を行う。 他者とコミュニケーションを積極的に図る態度を育成し、基本的な言い回しを使いながら自分のことや身近な話題について情報や考え、気持ちを伝えたりやり取りしたりできるようにすることを目指す。 教科書本文のテーマについて考えたり意見を述べたりすることで、社会や文化に対する深い思考を身につけることを目指す。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 「読むこと」「聞くこと」において、本文の内容について読んだり聞いたりして、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容について読んだり聞いたりしたことを、学習した表現を用いながら概要をまとめている。 「話すこと」「書くこと」における言語活動において、学習した表現を用いながら情報や考え、気持ちを伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に語彙や表現を習得しようとしていたり、音読練習をしたり、Pair・Group Workに関わりようとしている。 「話すこと」「書くこと」における言語活動において、聴き手や読み手を意識しながら、積極的に情報や考え、気持ち表現したり、やり取りしようとしている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・単語テストや課題考査の分析 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・retelling 活動への取組の観察 ・writing 課題の内容の確認 ・speaking 活動の内容の確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の言語活動への取組の観察 ・課題の取り組み状況 ・振り返りシートの記述の分析 などから評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	言語材料・活動	授業時数と技能・領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko	・be 動詞 ・自己紹介	3 「読むこと」 「聞くこと」 「話すこと(発表)」	・be 動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・自分の名前・性格・特徴などを、be 動詞を用いて、相手が理解しやすいように伝える。	3	小テスト(理解の確認) 発表の様子(行動の確認)
	Pre-Lesson 2 I Like Junk Food!	・一般動詞 ・自分の好みについての対話	3 「読むこと」 「聞くこと」 「話すこと(発表)」	・一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・自分の日常の行動や食べ物の好みなどを一般動詞を用いて、相手が理解しやすいように伝える。	3	小テスト(理解の確認) 発表の様子(行動の確認)
	Communication 1 自己紹介	自己紹介	2 「聞くこと」 「話すこと(発表)」	・ここまで学習したことを元にして、効果的な自己紹介ができるように、選んだテーマに沿って自分の情報を整理して、相手が理解しやすいように伝える。	2	発表の様子(内容の確認・行動の確認)
5	Lesson 1 Breakfast around the World	・過去形 ・好きな食べ物についての対話	5 「読むこと」 「聞くこと」 「書くこと」 「話すこと(発表)」	・動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・世界の朝食について学んだ事柄を用いて、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合う。	5	小テスト(理解の確認) 発表の様子(行動の確認) 課題提出(状況の確認)
	第1回定期考査				1	答案の分析 振り返りシートの分析

	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	<ul style="list-style-type: none"> 現在進行形、過去進行形 好きな動物についての対話 	1 0 「読むこと」 「聞くこと」 「書くこと」 「話すこと（発表）」	<ul style="list-style-type: none"> 現在進行形、過去進行形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄を用いて、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合う。 	1 0 小テスト（理解の確認） 発表の様子（行動の確認） 課題提出（状況の確認）
6	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞(can, will) ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べる。 	1 0 「読むこと」 「聞くこと」 「書くこと」 「話すこと（発表）」	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞 can, will を用いた文の形・意味・用法を理解する。 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること等について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合う。 	1 0 小テスト（理解の確認） 発表の様子（行動の確認） 課題提出（状況の確認）
	第2回定期考査				1 答案の分析 振り返りシートの分析
7	Communication 2 道案内	道案内	4 「聞くこと」 「話すこと（やり取り）」	<ul style="list-style-type: none"> 道案内をするにあたり、地図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をする。 	4 発表の様子（内容の確認・行動の確認）
	Lesson 4 A Miracle Mirror	<ul style="list-style-type: none"> to 不定詞 行ってみたい場所について、英語で述べる。 	1 4 「読むこと」 「聞くこと」 「書くこと」 「話すこと（発表）」	<ul style="list-style-type: none"> to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ウユニ塩湖に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合う。 	1 4 小テスト（理解の確認） 発表の様子（行動の確認） 課題提出（状況の確認）
8	夏季休業課題考査				1 課題の提出（状況の確認） 答案の分析 振り返りシートの分析
9	Lesson 5 Learning from the Sea	<ul style="list-style-type: none"> 動名詞 将来の夢について英語で述べる。 	1 4 「読むこと」 「聞くこと」 「書くこと」 「話すこと（発表）」	<ul style="list-style-type: none"> 動名詞（動詞の-ing 形）を用いた文の形・意味・用法を理解する。 高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合う。 	1 4 小テスト（理解の確認） 発表の様子（行動の確認） 課題提出（状況の確認）

	第3回定期考査				1	答案の分析 振り返りシートの分析
10	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	・受け身 ・好きな絵について、英語で述べる。	1 4 「読むこと」 「聞くこと」 「書くこと」 「話すこと（発表）」	・受け身を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・歌川国芳の浮世絵に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな絵とその理由について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合う。	1 4	小テスト（理解の確認） 発表の様子（行動の確認） 課題提出（状況の確認）
11	Lesson 7 A Diary of Hope	・比較表現 ・関心のある人物について、英語で説明する。	1 6 「読むこと」 「聞くこと」 「書くこと」 「話すこと（発表）」	・比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・アンネ・フランクの生活と彼女の日記について書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、関心のある人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合う。	1 6	小テスト（理解の確認） 発表の様子（行動の確認） 課題提出（状況の確認）
	第4回定期考査				1	答案の分析 振り返りシートの分析
12	Lesson 8 A Door to a New Life	・現在完了形 ・人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案する	1 6 「読むこと」 「聞くこと」 「書くこと」 「話すこと（発表）」	・現在完了形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりする。	1 6	小テスト（理解の確認） 発表の様子（行動の確認） 課題提出（状況の確認）
1, 2	冬季休業課題考査				1	課題の提出（状況の確認） 答案の分析 振り返りシートの分析
	Communication 3 乗り換え案内	乗り換え案内	4 「聞くこと」 「話すこと（やり取り）」	・電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしている。	4	発表の様子（内容の確認・行動の確認）
	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	・分詞の後置修飾 ・環境を守るためにできることについて、英語で述べる。	1 8 「読むこと」 「聞くこと」 「書くこと」 「話すこと（発表）」	・分詞の後置修飾を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合う。	1 8	小テスト（理解の確認） 発表の様子（行動の確認） 課題提出（状況の確認）
	第5回定期考査				1	答案の分析 振り返りシートの分析

計 140 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・副教材を使った単語テストを定期的に行います。
- ・考査ごとに振り返りシートを記入し、提出することとなります。
- ・ワークブックや writing など、指示された課題を提出することとなります。
- ・単元に関係のあるパフォーマンステストを実施します。
- ・長期休業中の課題は別途指示します（副教材の学習等）。

8 担当者からの一言

「英語コミュニケーションⅠ」は、教科書本文を読みながら基本的な語彙・表現を習得し、そして学習した表現を用いて様々な言語活動を行う科目です。2クラスを3分割して少し規模の小さなクラスに展開し、各単元に時間をかけてじっくり取り組むことで、英語を苦手とする生徒にも取り組みやすい授業を行います。この科目が今後2年間続く英語の学習の基本となることから、一つ一つの課題に積極的に取り組み、習得しようとする意志が重要です。また、ペアやグループ等で活動を頻繁に行うことで、共に学び、助け合い、英語で表現する積極性を養い、いろいろな人の考えに触れることを目指しています。このような科目の学習をとおして、皆さんが英語の知識や、多様な社会や文化に関する知識を習得し、物事を深く考え、英語で表現することを楽しむようになることを期待しています。